



2019年5月7日

各位

会社名 株式会社フライングガーデン
 代表者名 代表取締役社長 野沢八千万
 (JASDAQ・コード 3317)
 問合せ先 取締役財務部長 片柳紀之
 (TEL: 0285-30-4129)

繰延税金資産の計上及び業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

当社は2019年(平成31年)3月期決算において、下記の通り繰延税金資産を計上いたしました。また、2018年(平成30年)10月29日に公表いたしました2019年(平成31年)3月期の業績予想と実績値の差異についてお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の計上について

当社は近年の業績回復及び今後の見通し等をふまえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、2019年(平成31年)3月期第4四半期決算において繰延税金資産66百万円を計上することといたしました。

2. 2019年(平成31年)3月期 通期業績予想値と実績値の差異

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------|-------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 7,560 | 420 | 430 | 270 | 186.81 |
| 実績値(B) | 7,321 | 295 | 327 | 275 | 190.75 |
| 増減額(B-A) | △239 | △125 | △103 | 5 | — |
| 増減率(%) | △3.1 | △29.7 | △23.7 | 2.1 | — |
| (ご参考) 前期実績 (2018年3月期) | 7,555 | 445 | 463 | 318 | 220.04 |

3. 差異の理由

売上高につきましては、販売促進に努めましたが下半期も傾向は変わらず、前年同期のテレビ放映効果を補えず来客数が減少したことにより、計画を下回りました。

利益面では売上高の減少に伴い売上総利益が減少し、また、原価率の低減やコストコントロールに努めたものの人件費が増加したため、営業利益、経常利益ともに前回予想を下回りました。当期純利益につきましては「1.繰延税金資産の計上について」に記載の通り、繰延税金資産の計上に伴う法人税等調整額△66百万円(△は益)の計上等によりほぼ前回予想通りとなりました。

以上